

**宮 城 県 の 経 済 動 向**  
**平成 2 9 年 第 2 四 半 期**  
**( 4 月 ~ 6 月 期 )**

# I 本県の経済概況

## 平成 29 年第 2 四半期（4 月～6 月期）の宮城県経済の動向

生産は回復を続けており，求人倍率は高水準で推移しているなど，基調としては緩やかに回復しているものの，住宅投資，公共投資や個人消費などに弱い動きがみられる。

- ・ 生産：東日本大震災の影響があるなかで，回復を続けている。
- ・ 住宅投資：高水準で推移しているものの，減少傾向の動きとなっている。
- ・ 公共投資：高水準で推移しているものの，減少傾向の動きとなっている。
- ・ 個人消費：足踏み状態となっている。
- ・ 雇用：改善傾向の動きとなっている。
- ・ 企業倒産：小康状態となっている。

### 生産

鉱工業生産指数は，前期比が2期連続の上昇となった。前年同期比は6期連続の上昇となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は，前年同期比が全体では5期ぶりの増加となった。分譲住宅は3期ぶりの増加となった。貸家は2期ぶりの増加となった。持家は5期連続の減少となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の前年同期比は，全体では6期連続の減少となった。発注主体別にみると，国は3期連続の減少となった。県は3期ぶりの減少となった。市町村は5期連続の減少となった。

### 個人消費

（百貨店・スーパー，自動車，物価）

#### 百貨店・スーパー

百貨店・スーパー販売額の全店舗比較は，前年同期比が5期連続の減少となった。既存店比較は，5期連続の減少となった。

### 自動車

軽自動車の新車届出台数を含む乗用車新車登録台数は，前年同期比が3期連続の増加となった。車種別の前年同期比は，軽自動車は10期ぶりの増加となった。小型車は3期連続の増加となった。普通車は6期連続の増加となった。

### 物価

仙台市消費者物価指数（平成27年=100）は，総合指数は前期比が2期ぶりの上昇となり，前年同期比は3期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は前期比が2期ぶりの上昇となり，前年同期比は2期連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は前期比が2期ぶりの上昇となり，前年同期比は6期連続の上昇となった。

### 雇用

有効求人倍率（原数値）は，前年同期差が10期連続の上昇となった。新規求人倍率（同）は，前年同期差が10期連続の上昇となった。実質賃金指数（製造業・事業所規模30人以上・H27=100）は，前年同期比が2期連続の上昇となった。

### 企業倒産

企業倒産は，件数は前年同期比が2期ぶりの増加となった。負債総額は前年同期比が4期ぶりの増加となった。大型倒産（負債総額10億円以上）は1件発生した。

※下線部は前期からの主な変更箇所。

## II 主な指標の動き

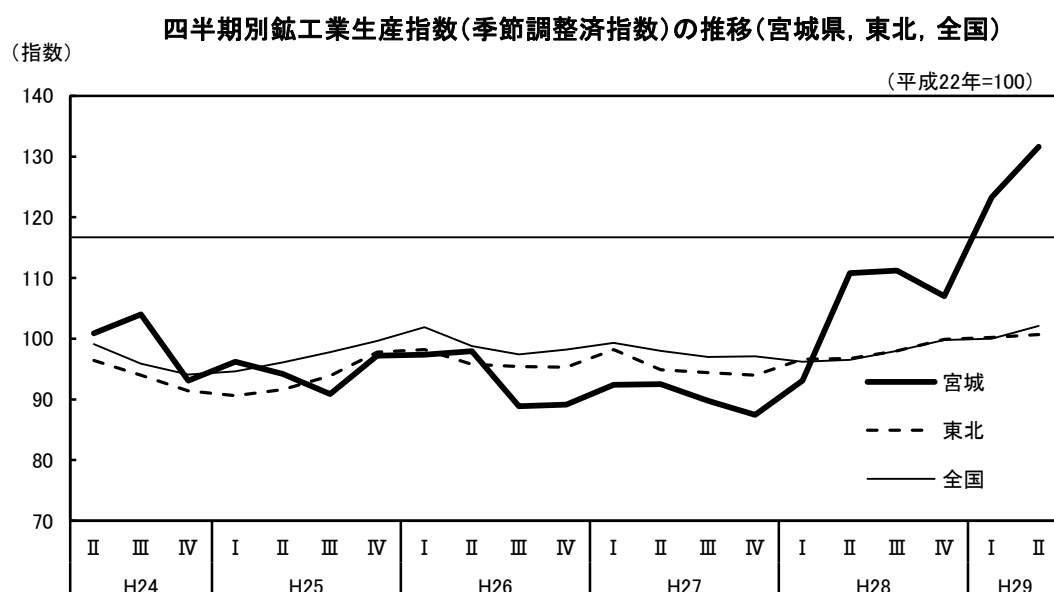
### 1 生産

#### ○ 鉱工業生産指数

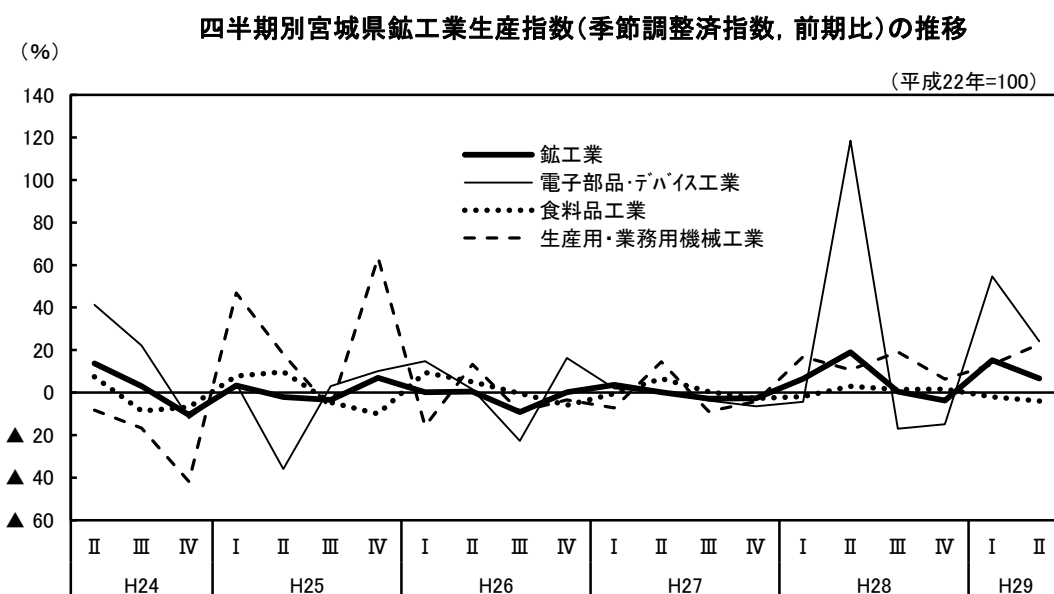
平成 29 年第 2 四半期(4 月～6 月期)の鉱工業生産指数(季節調整済)は 131.6(平成 22 年＝100)で、前期比が 6.7 %の上昇となり、2 期連続の上昇となった。

ウェイトの大きい業種を中心に見ると、電子部品・デバイス工業は前期比が 24.1%の上昇となり、2 期連続の上昇となった。生産用・業務用機械工業は前期比が 22.8%の上昇となり、6 期連続の上昇となった。食料品工業は前期比が 4.0%の低下となり、2 期連続の低下となった。

前年同期比(原指数での比較)では 20.1%の上昇となり、6 期連続の上昇となった。



(資料:宮城県統計課)



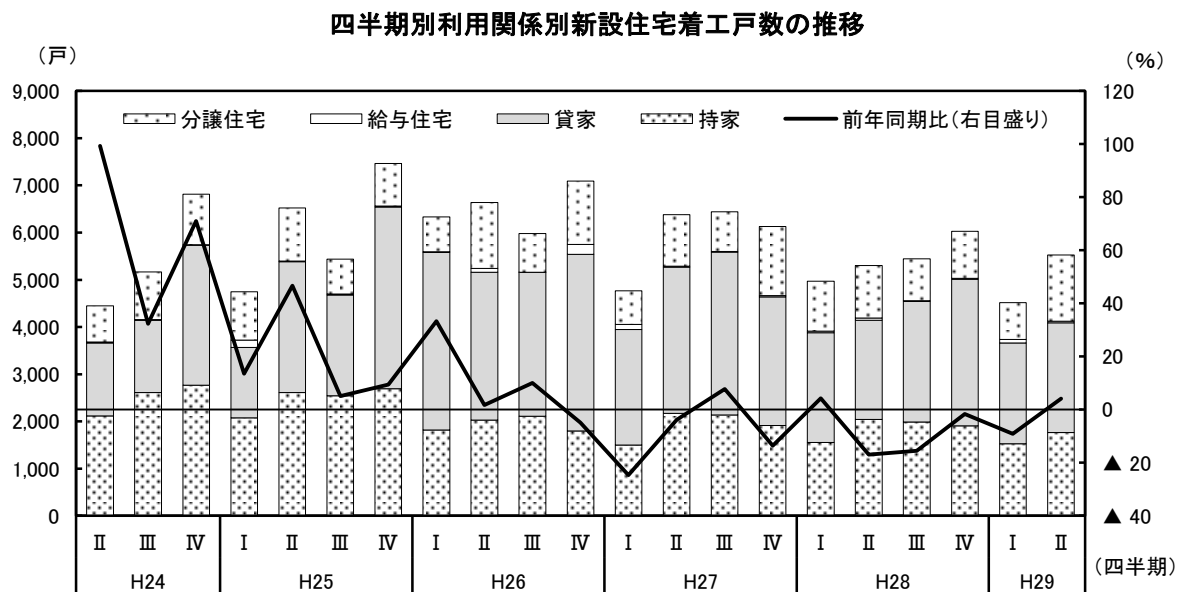
(資料:宮城県統計課)

## 2 住宅投資

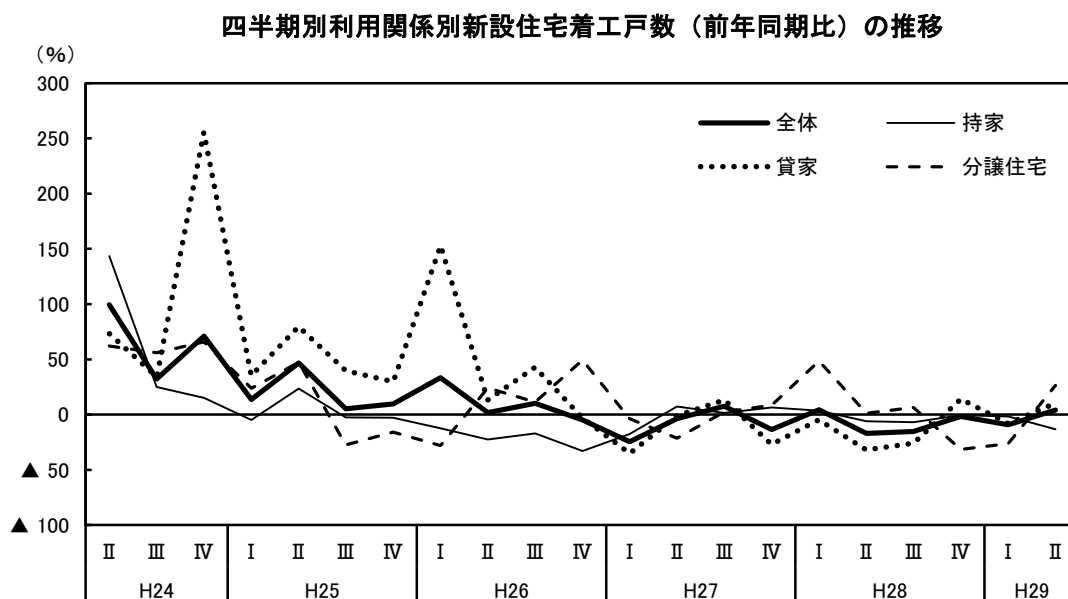
### ○ 新設住宅着工戸数

平成 29 年第 2 四半期(4 月～6 月期)の新設住宅着工戸数は 5,524 戸で、前年同期比が 4.2%の増加となり、5 期ぶりの増加となった。

利用関係別にみると、分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が 26.5%の増加となり、3 期ぶりの増加となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が 10.3%の増加となり、2 期ぶりの増加となった。持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が 13.4%の減少となり、5 期連続の減少となった。



(資料:国土交通省)



(資料:国土交通省)

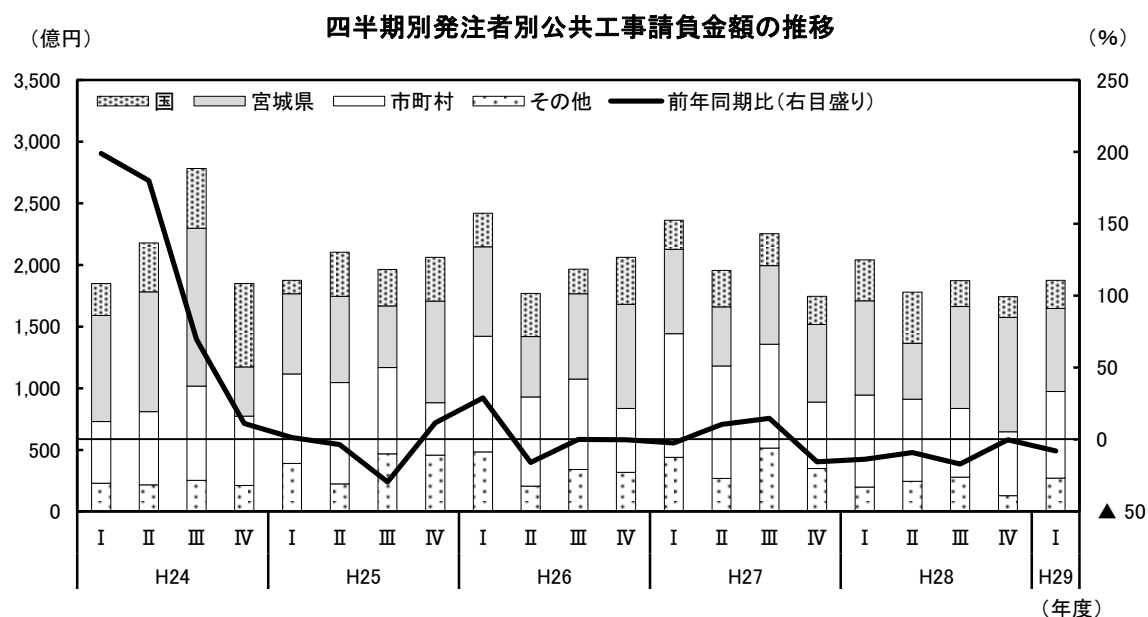
### 3 公共投資

#### ○ 公共工事請負金額

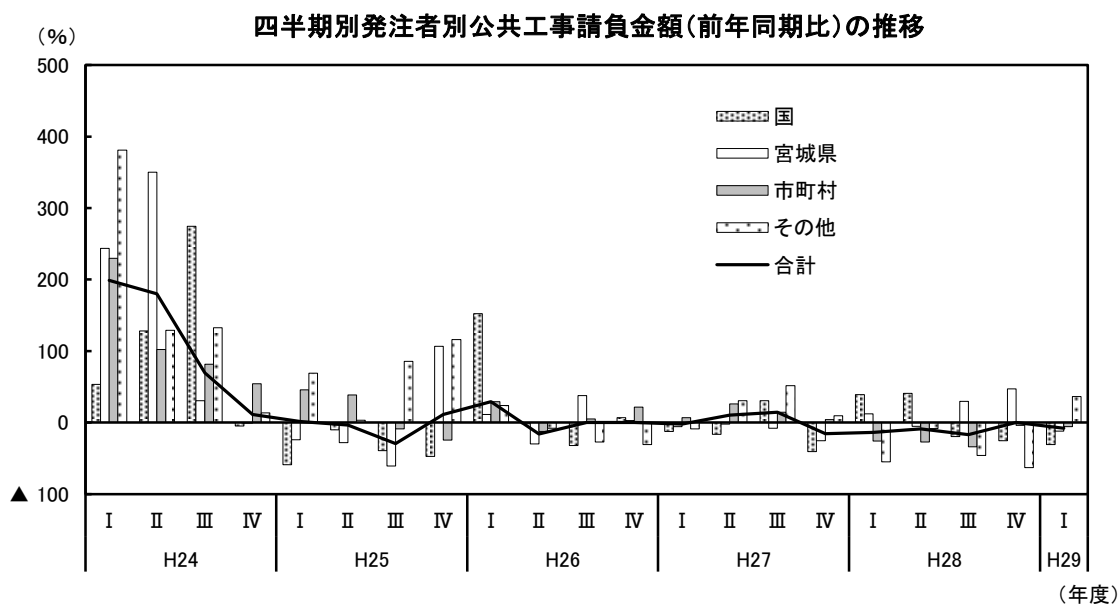
平成 29 年度第 1 四半期（4 月～6 月期）の公共工事請負金額は 1,875 億円で、前年同期比が 8.0%の減少となり、6 期連続の減少となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が 30.8%の減少となり、3 期連続の減少となった。県は前年同期比が 12.1%の減少となり、3 期ぶりの減少となった。市町村は前年同期比が 5.7%の減少となり、5 期連続の減少となった。

※ 公共工事請負金額は、年度をベースにしているため、動向や資料は年度を基準としています。



(資料:東日本建設業保証(株))



(資料:東日本建設業保証(株))

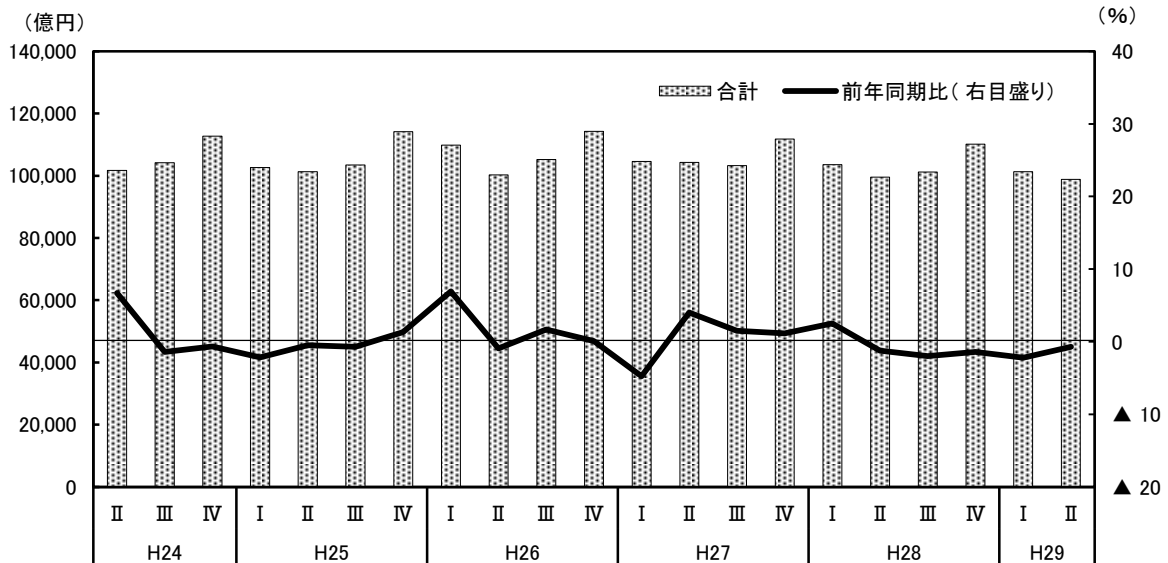
## 4 個人消費

### (1) 百貨店・スーパー販売額

平成29年第2四半期(4月～6月期)の百貨店・スーパー販売額は988億6,000万円で、全店舗比較の前年同期比は0.7%の減少となり、5期連続の減少となった。既存店比較の前年同期比は0.9%の減少となり、5期連続の減少となった。

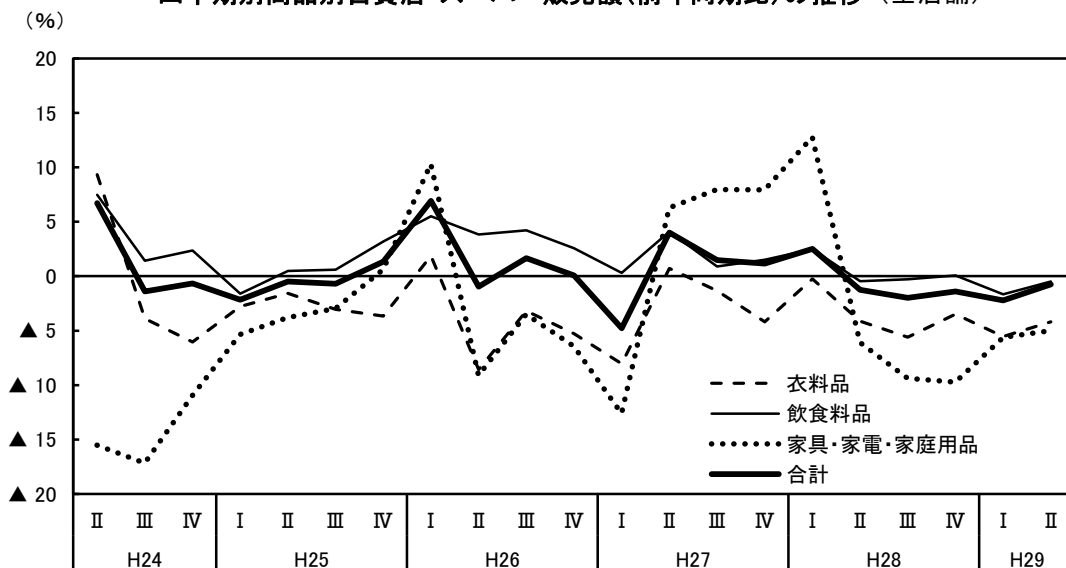
商品別にみると、衣料品は前年同期比(同)が4.2%の減少となり、8期連続の減少となった。飲食料品は前年同期比(全店舗比較)が0.5%の減少となり、2期連続の減少となった。家具・家電・家庭用品は前年同期比(同)が5.0%の減少となり、5期連続の減少となった。

四半期別百貨店・スーパー販売額の推移(全店舗)



(資料:東北経済産業局)

四半期別商品別百貨店・スーパー販売額(前年同期比)の推移(全店舗)



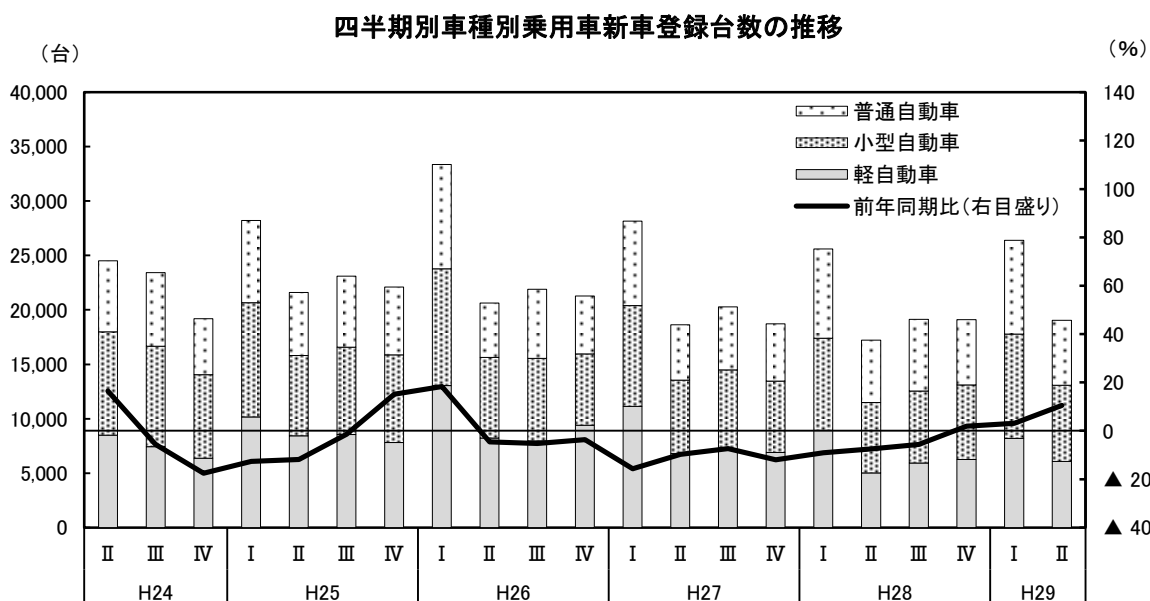
(資料:東北経済産業局)

※ 平成27年第3四半期分よりそれ以前のデータとはリンク係数で補正(14頁参照)

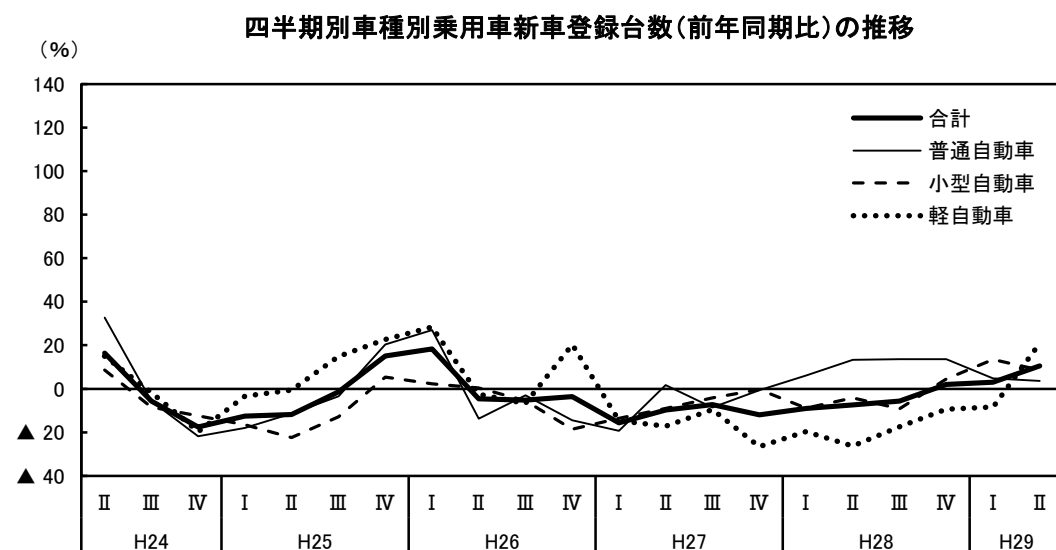
## (2) 乗用車新車登録台数

平成 29 年第 2 四半期(4 月～6 月期)の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は 1 万 9,051 台で、前年同期比が 10.5% の増加となり、3 期連続の増加となった。

車種別にみると、軽自動車は前年同期比が 21.0% の増加となり、10 期ぶりの増加となった。小型車は前年同期比が 8.6% の増加となり、3 期連続の増加となった。普通車は前年同期比が 3.6% の増加となり、6 期連続の増加となった。



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)



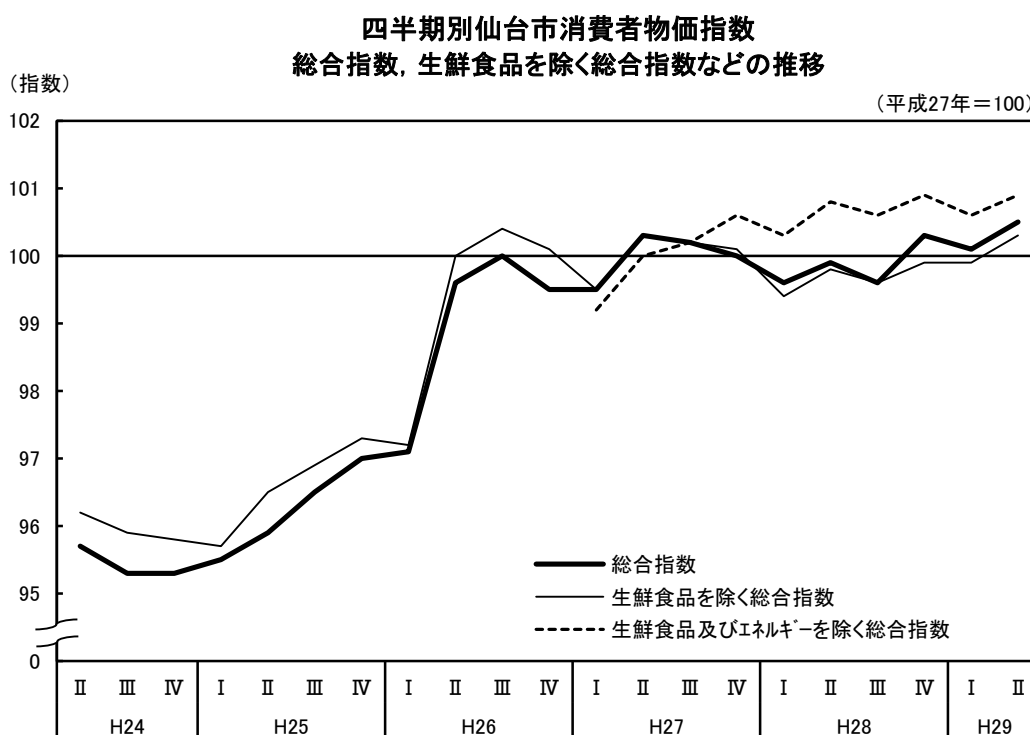
(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)

### (3) 物 価

#### ○ 消費者物価指数

平成 29 年第 2 四半期(4 月～6 月期)の仙台市消費者物価指数(平成 27 年=100)は、総合指数は 100.5 で、前期比が 0.4%の上昇となり、2 期ぶりの上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は 100.3 で、前期比が 0.4%の上昇となり、2 期ぶりの上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 100.9 で、前期比が 0.3%の上昇となり、2 期ぶりの上昇となった。

前年同期比では、総合指数は 0.6%の上昇となり、3 期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は 0.5%の上昇となり、2 期連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 0.1%の上昇となり、6 期連続の上昇となった。



※ 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は平成 27 年 1 月分より公表(14 頁参照)。

(資料:宮城県統計課)

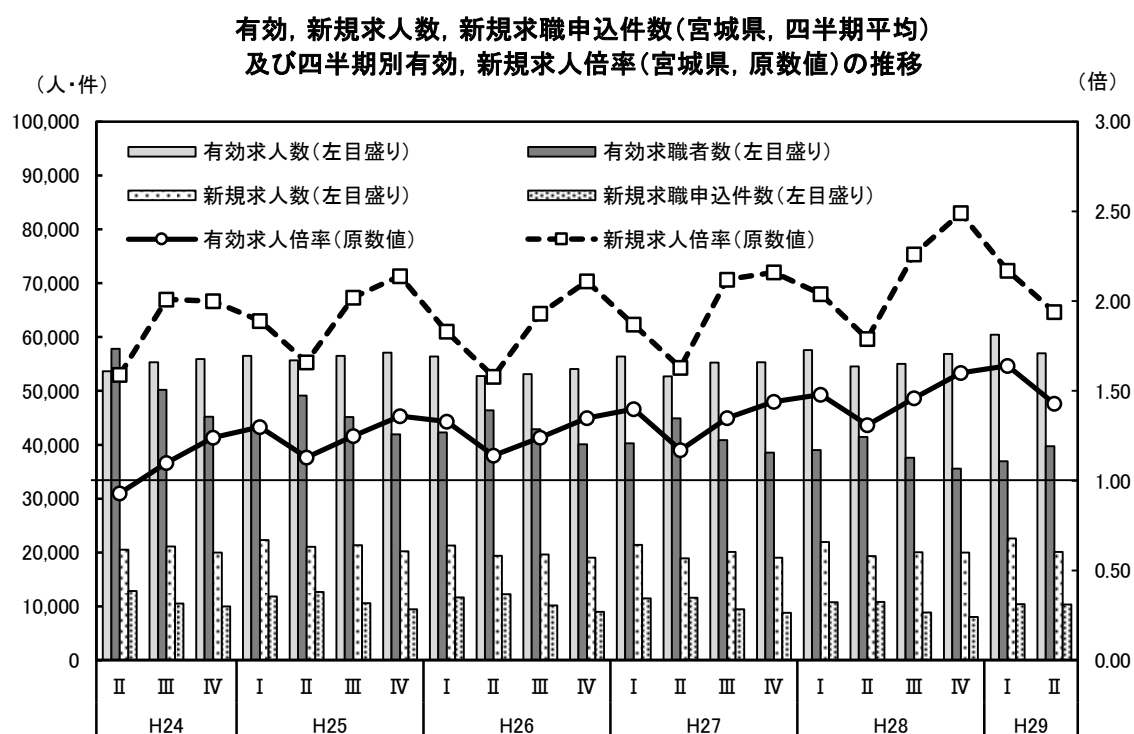


## 5 雇 用

### (1) 求人倍率

平成 29 年第 2 四半期(4 月～6 月期)の有効求人数(月平均値)は 5 万 6,998 人で、前年同期比が 4.5%の増加となり、3 期連続の増加となった。有効求職者数(同)は 3 万 9,727 人で、前年同期比が 4.3%の減少となり、21 期連続の減少となった。有効求人倍率(原数値)は 1.43 倍で前年同期差は、0.12 ポイント上昇し、10 期連続の上昇となった。

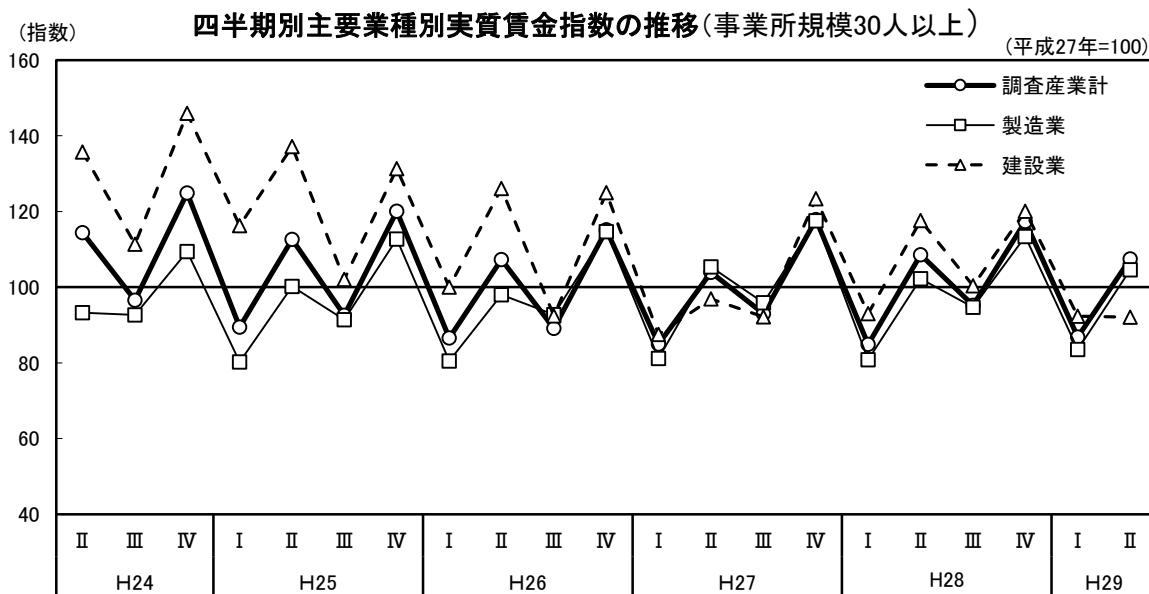
新規求人数(月平均値)は 2 万 122 人で、前年同期比が 4.1%の増加となり、3 期連続の増加となった。新規求職申込件数(同)は 1 万 358 件で、前年同期比が 4.3%の減少となり、15 期連続の減少となった。新規求人倍率(原数値)は 1.94 倍で前年同期差は、0.15 ポイント上昇し、10 期連続の上昇となった。



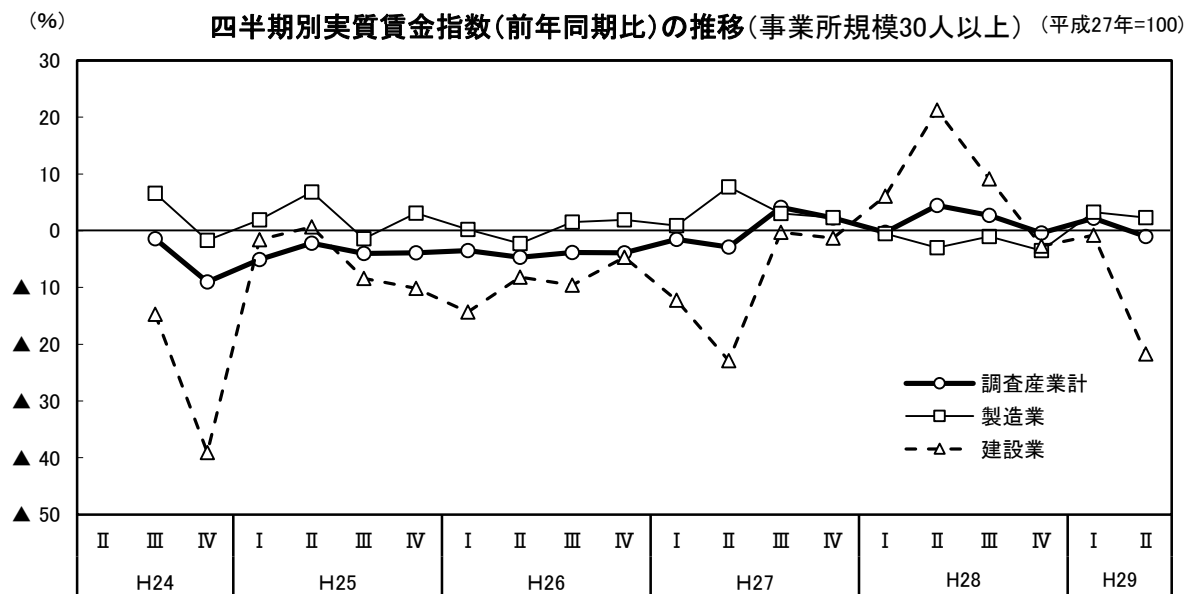
(資料: 宮城労働局)

## (2) 賃金

平成 29 年第 2 四半期(4月～6月期)の実質賃金指数(平成 27 年=100)は、調査産業計(事業所規模 30 人以上)は 107.5 で、前年同期比が 1.0%の低下となり、2期ぶりの低下となった。製造業(同)は 104.6 で、前年同期比が 2.3%の上昇となり、2期連続の上昇となった。建設業(同)は 92.1 で、前年同期比が 21.7%の低下となり、3期連続の低下となった。



(資料:宮城県統計課)



※ 震災の影響により平成 23 年 3 月から 5 月までのデータが無いため、平成 24 年第 I・第 II 四半期は欠落している。

(資料:宮城県統計課)

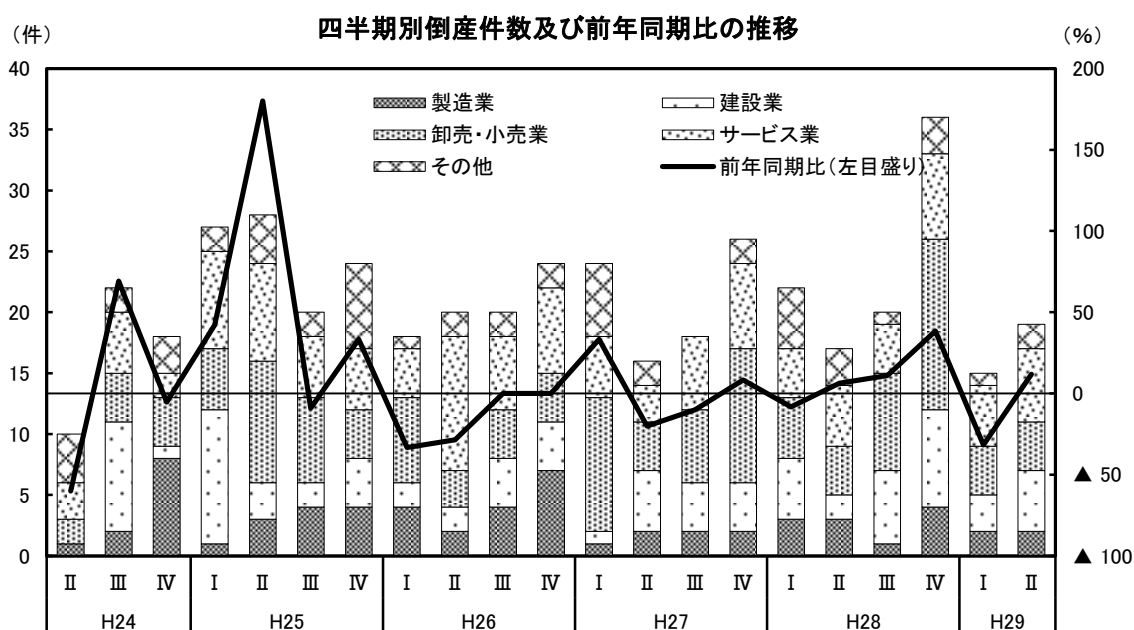
## 6 企業倒産

平成29年第2四半期(4月～6月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額1千万以上)の件数は19件で、前年同期比が11.8%の増加となり、2期ぶりの増加となった。

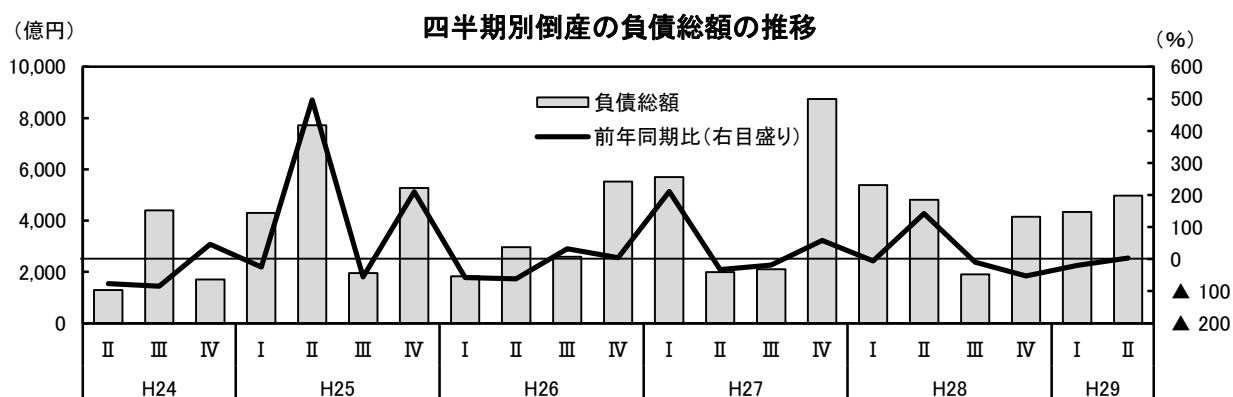
負債総額は49億7,700万円で、前年同期比が3.3%の増加となり、4期ぶりの増加となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振, 売掛金回収困難, 赤字累積, 既往のシワ寄せ)の件数は10件で、前年同期比が28.6%の減少となり、2期連続の減少となった。件数の構成比は52.6%で、前年同期より29.8ポイントの低下となった。

大型倒産(負債総額10億円以上)は1件発生し、負債総額は29億円であった。



(資料):(株)東京商工リサーチ)



(資料):(株)東京商工リサーチ)